

e-maxシステム

今回、技工所に導入されました最新のe-maxシステムについてご紹介させていただきます。

現在、白い歯を製作する場合には使われる代表的な材料としては、レジン(プラスチック系)やセラミック(陶材)や、両方を併せた様な性質のハイブリッド材料などがありますが、e-maxは新しいセラミックの修復物(被せ物や詰め物)を製作するシステムです。

従来のセラミック材料は、金属で作ったフレームに焼き付けて使う方法が多く採用されてきましたがe-maxは金属を使わずにセラミック材料だけで製作する事の出来るシステムです。

セラミック材料だけで修復物を製作する利点は、セラミックは体に対する害がほとんど見られない事、金属を使わないので金属アレルギーの心配が無い事、金属フレームを使用すると歯茎が痩せてきたりした場合に歯と歯茎の境目に金属の黒っぽい影が見える場合があります

ですがその様な現象が無くなる事など多数あります。

さらに、従来の陶材は非常に硬く、噛み合わせの強い患者様の場合など、ある程度の年数が経つと少しずつ噛み合う歯をすり減らしてしまう場合があります。また、e-maxの材料となる陶材は歯の硬さに近い特殊な材質なので噛み合う歯を減らす事が少なくなります。

「そんなに良い材料なら、なぜもっと早く使わないのか?」と思われるしまうかも知れませんが、900℃以上の高温に熱したセラミック材料を、患者様から型取りした模型にピッタリフィットする様にプレスするe-maxのシステムは、近年のテクノロジーの進歩があつてこそのもので、ここ数年で普及し始めた新しい技術です。

このように優れた材質のe-maxは前歯にも奥歯にも、また詰め物にも被せ物にも、ブリッジにも使うことが出来ます。

中でも今、私たち技術者が思うe-max

の効果的な使用法は、奥歯の小さな虫歯の治療後の詰め物と、やはり奥歯の被せ物ではないでしょうか。

近年、奥歯の金属色の詰め物や被せ物が気になると仰る患者様は増える傾向にあります。

歯の色にマッチした白い材料が広く求められています。しかし今まではその場で出来るレジン(プラスチック系)の小さな詰め物以外は、保険外でも保険のものより強度と耐久性のあるレジン材料を選ぶか、時間と費用のかかるオールセラミックやジルコニアや金属に焼き付けるセラミックか、といった選択肢でした。今回登場のe-maxは奥歯の詰め物の材料の新しい選択肢です。

e-maxは従来のハイブリッドのレジンよりも耐久性に優れていますし、従来のオールセラミックより材質的に優れていて、しかもシンプルに製作出来る分従来のオールセラミックよりはコストも幾分か抑えられています。

前歯などには色調の再現性などで従来のメタルボンド(金属に焼き付けたセラミック)の長年使われてきた分の技術の積み重ねに二歩譲る部分もあります。が、適材適所、使用する部位によっては

非常に有効な選択肢となるのではないかと考えています。

治療部分の大きさや変色度合いにもよりますが、元の歯とほとんど違和感の無い自然な色合いの仕上がり可能な場合もあります。

これから奥歯の治療が必要な患者様、詰め物の金属の色やアレルギーが気になる患者様はぜひ一度担当ドクターに、新しい技術e-maxについてお尋ね頂きます事をお勧めいたします。

歯科技工士 中川

